

# Tokyo Tobihino Rotary Club



会長テーマ  
ロータリークラブ ここにあり！

2022-23 Weekly Report vol.35-14



会長 守重 昌之

幹事 仙波 秀夫

## 2022年10月12日(火) 第1601回 日野RC合同献血例会 於:高幡不動尊境内駐車場

コロナ禍の中で献血量が減少、日常的に血液不足が続いている中での献血例会。早朝から、日野RC・当クラブの会員が準備を進め、日赤の献血車が到来し担当者が配置について受付が始まりました。先週は気温の差が大きく体調を崩す人がいましたが、今週に入り気温も平年並みとなり、毎年の恒例のプログラムで呼びかけに市民皆さんのが耳を傾けていただきました。皆様の善意でたくさんの献血をいただきました。ご協力ありがとうございました。

医療機関へ供給することができるようになります。そのため、血液製剤の需給管理業務、検査・製剤業務等をブロック血液センターに集約しました。なお、献血や血液製剤の供給はこれまでと変わらず都道府県の血液センターが担い、さらに安心して献血にご協力いただけ、供給ができるように取り組んでいます。

### 400mL献血、成分献血をお願いしています

人間一人ひとりの血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違っています。このため複数の献血者の血液をあわせて一人の患者さんに輸血するほど、副作用(発熱、発疹など)発生の可能性が高くなります。

400mL献血と成分献血は、200mL献血に比べて献血量が多いことから、少ない献血者からの輸血を可能にし、安全性を向上させる献血の種類といえます。

そのため、献血いただく方のご意思を尊重し、献血によって体調を崩すことのないよう、問診により健康状態について慎重に確認したうえで、400mL献血と成分献血のご協力ををお願いしています。

### 定期的な献血へのご協力のお願い

日本赤十字社では、医療機関の血液需要を予測し、これに沿って献血のご協力ををお願いしています。しかしながら、全国的に見ると、特に冬場から春先にかけては、風邪などで体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなることから献血者が減少しがちです。医療機関へ血液を確実にお届けするために、年間複数回の献血へのご協力ををお願いします。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、献血に協力する人が急減。このままの状態が続けば輸血用の血液が足りなくなるおそれもあるとして、関係者は危機感。水野倫之解説委員の解説。

献血などの血液事業は国の許可を受けた日赤が一手に引き受け。日赤によると治療で輸血を受ける人は毎日全国で

### 血液事情(日赤献血 HPより)

#### 少子高齢社会を迎えて

輸血用血液製剤や血漿分画製剤の多くは高齢者の医療に使われており、輸血用血液製剤を使用されている方の約85%は50歳以上の方々です。

一方で、献血いただいている方の60%以上は50歳未満の方々であり、この世代の方々が輸血医療を大きく支えています。しかし、若年層(10~30代)の献血者数は減少傾向にあります。日本の少子高齢化が今後ますます進んでいくと、将来の安定供給に支障をきたす恐れがあります。

血液は長期保存することができませんので、医療機関に安定的に血液を供給するためには、輸血用の血液を十分に確保する必要があります。今後の安定供給のためにも、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠になっています。

#### 広域事業運営体制の導入

安全性の向上、安定供給とともに事業者の責務として効率的な事業運営を行うことで、国民に信頼される持続可能な血液事業体制を確立するため、平成24年4月より広域事業運営体制を導入し、それまでの都道府県単位で行っていた事業を、全国に7つの本社直轄施設(ブロック血液センター)を設置して事業を実施する体制としました。

のことにより、より安全で均質な血液製剤を、安定的に

# 10月「経済と地域社会の発展月間・米山月間」 2022・23 WeeklyReport vol.35-14

3000人。そのためには1日に13000人に献血に協力してもらう必要あり。しかしその献血、ほぼ全国的に減少。

▽関東甲信越地区では今月12日までの10日間で計画よりも6674人分少なく、20%近く下回る。東京都では2323人分少ない。▽近畿地区では2500人分、計画より13%あまり下回。▽沖縄も含む九州地区は19日間で3121人分、14%あまり下回り。▽東海北陸では9日間で2094人分が不足するなど、全国的に献血への協力者が減少。

緊急事態宣言でも政府の基本方針では献血は継続すべき事業とされる。ただ外出自粛要請によって、献血の機会が減ったことが協力者の減少の大きな要因。血液は人工的に作ることができないので、善意の献血に頼るしかない。協力しようと思う人はこれまで、各地の日赤の献血ルームや、大学や職場などを巡回する献血専用のバスで行われる献血

会に参加。ただこのうちバスによる献血会が、各地で大学が休校になったり、職場もテレワークが推奨されたことで人がいなくなって中止となるケースが相次ぎ、献血の場が減った。これに加えて外出の自粛で献血ルームを訪れる人も減少傾向で、全国的に協力者が減った状態。今病院では新型コロナへの対応に追われ手術が延期されるケースもあるが、それでも血液の需要は高い。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1601回	23	19	1	-	3	86.9
第1599回	22	15	3	0	4	82

ニコニコBOX

本日 1,000円 累計 376,800円

本年度目標額1,200,000円 達成率31.4%

※今週のメークアップ 水野さん

※先々週の後メークアップ なし

